

スクラッチプログラミング・コンテスト受賞者、盛尾悠介君の更なるチャレンジ報告！ (From SSK 関西)

昨年、スーパーサイエンスキッズ（以下、SSK という。）関西で行われた「スクラッチプログラミング・コンテスト」にて最優秀賞を受賞した盛尾悠介くんが「こどもの第5回ナレッジイノベーションアワード」の中学生アイデアコンテスト部門“未来の仕事を考える”にて 3258 名の応募者の中から7名の最終選考に残り、3月21日（水）にグランフロント大阪にて開催の「公開プレゼンテーション・最終選考会」にて応募内容のプレゼンテーションを行いました。選考の結果、おしくもグランプリ（1名）、準グランプリ（2名）ではありませんでしたが優秀賞を受賞されました。

なお、盛尾悠介くんはこれ以外にも、NHK for School のわいわいプログラミングにも応募し、ゲーム賞を2度受賞されています。

盛尾悠介君のコメント：

SSK のワークショップがきっかけで、プログラミングに対するモチベーションがあがり、そこから様々なコンテストに応募するようになりました。今回、入賞したナレッジイノベーションアワードでは、貴重な経験をさせていただきました。

結果としては少し悔しい気持ちもありますが、皆の前で自分の意見を聞いてもらえただけで、本当に楽しかったです。

これからもプログラミング等のコンピューターサイエンスをがんばりたいです！



お父様のコメント：

SSK 関西の活動を SSK ホームページで知り、初めて参加させていただいてから、はや2年が経ちました。そのワークショップの帰りがけに、本人が、プログラミングが好きな人同士で、同じ空間、同じ時間を共有できること、それだけで十分楽しいと、うれしそうに話していたことを思い出します。その後も、事務局より SSK 関西主催の「特別選抜スクラッチプログラミングワークショップ」や、「スクラッチプログラミング・コンテスト」への参加を促して下さったり、また、その中で講師の高田先生からは、今につながるヒントやコメントをいただくなど、子どものモチベーション向上につながる、多くのきっかけを与えて下さったことを、本当に感謝しております。また、早速これからは、人口知能のプログラミングを学ぶといって Python をはじめています。今後も、多岐にわたる SSK 関西の活動を応援すると同時に、継続して参加させていただければと思っております。

SSK 関西ワークショップ講師の高田先生からのコメント：

嬉しい報告ですね。ぜひ、これから本格的に Computer Science を専攻して欲しいと思います。

瓜谷 SSK 理事長からのコメント：

SSK の設立趣旨である、【子ども達が自らの才能に気づき、創造性を伸ばし、「科学的思考力」や「芸術的表現力」、「国際性」や「コミュニケーション能力」を自主的に育む“場”を提供し、子ども達には、「何かを発見し、創造する」ことの面白さを、楽しんで学んでもらいたい！】を実践してくれていますね。今後の更なるチャレンジを期待しています。

2018年4月6日

NPO法人

スーパーサイエンスキッズ関西事務局